

応用物理学セミナー

日 時	2013年 7月 17日 (水) 15:30~17:00
場 所	電子情報システム・応物系南講義棟103講義室 (D18棟)
題 目	太陽光発電の現状と将来展望
講 師	仁木 栄 (産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター長)
要旨: 世界の太陽電池の生産量は年々伸び続け、2012年には30GWを越えた。その中で、2005年に約50%であった日本の太陽電池のシェアは、徐々に中国、台湾勢に取って代われ、2012年には約6%にまで低下した。日本の太陽電池の国際競争力の向上は重要な命題である。 一方、導入に関しては、昨年7月に太陽光発電の固定価格買取制度が開始され、太陽光発電の国内導入量は大幅な伸びを示している。 太陽光発電の導入・普及をさらに加速するためには、国内産業の成長が不可欠であり、発電性能、コスト、信頼性の点で確固たる優位性を持つ太陽電池技術の開発が待望されている。 本セミナーでは、最初に日本の太陽光発電の現状を紹介する。さらに、テラワットPV時代に向けた課題を示し将来を展望する。	

以上の内容で応用物理学セミナーを開催いたします。

多数御来聴下さるようお願い致します

担当世話人 応用物理学専攻 佐久間 昭正

E:mail: sakuma@solid.apph.tohoku.ac.jp

電話：795-7777・FAX：7777